

「品質管理レビュー事例解説集Ⅱ部」に関するアンケート結果

2022年10月

I 目的

2022年度の「品質管理レビュー事例解説集Ⅱ部」の作成の参考とするために実施

II 方法

上場会社（監査役等）、レビュー対象監査事務所及び協会関係学識者に対し、「品質管理レビューの概要」（冊子）及び「品質管理レビュー事例解説集Ⅰ部」をアンケート用紙とともに郵送しているため、「品質管理レビュー事例解説集Ⅱ部」のアンケート用紙も同封

公認会計士社外役員ネットワーク正会員（以下「CPA社外役員」という。）に対しては、メールにてアンケート協力を依頼

回答は、協会ウェブサイト、FAX、電子メール、郵送で提出

※ 8月下旬にアンケート協力の再依頼メールを配信

※ 「品質管理レビュー事例解説集Ⅱ部」についてはデータのみでの公表。

III 提出期間

2022年7月1日から2022年8月31日まで

IV 対象及び回答数

アンケートの対象者及び対象者の種別ごとの回答数は、下表のとおりである。

なお、機関投資家へは昨年回答率が1.0%であったことから、冊子郵送せず協会ウェブサイトにてアンケートページを掲載するに留めたところ、回答者は該当がないため、回答数の記載を省略する。また、CPA社外役員からも回答が得られなかったため記載を省略する。

	発送数	回答数	回答率(%)
上場会社（監査役等）	3,876	84	2.2
レビュー対象監査事務所	218	55	25.2
協会関係学識者	20	4	20.0
合計	4,114	143	3.5

V 回答方法

利用されたアンケートへの回答方法は、下表のとおりである。

なお、郵送による回答者は該当がないため、回答数の記載を省略する。

	Web	メール	FAX
上場会社（監査役等）	80	2	2
レビュー対象監査事務所	54	2	0
協会関係学識者	2	0	0
合計	136	4	2

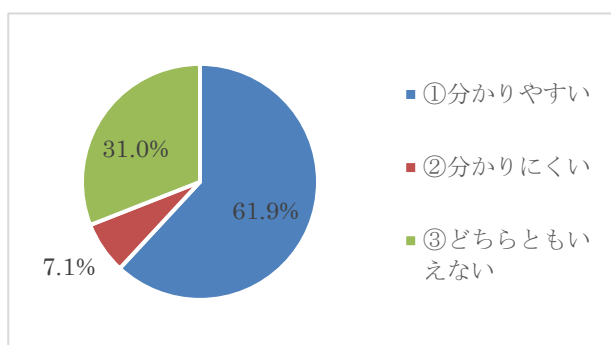
VI アンケート項目

Q1 全体を通して、「本解説集(Ⅱ部)」の記載内容は分かりやすいと思われたでしょうか。

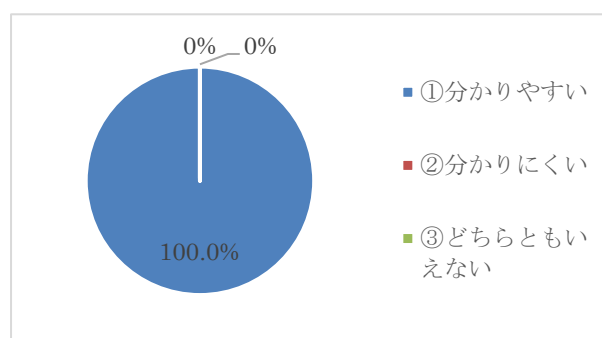
(共通質問項目)

選択肢	上場会社 (監査役等)	レビュー対象 監査事務所	協会関係 学識者
① 分かりやすい	52	57	1
② 分かりにくい	6	0	0
③ どちらともいえない	26	0	1
合計	84	57	2

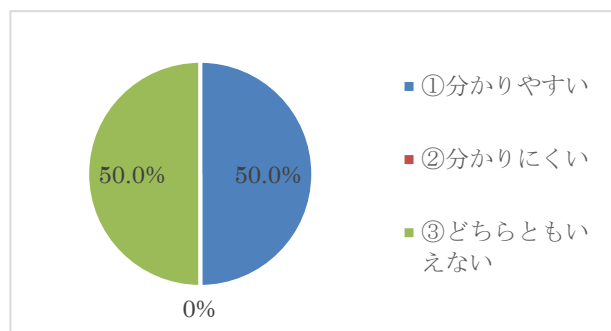
■ 上場会社 (監査役等)



■ レビュー対象監査事務所



■ 協会関係学識者



Q1について、「分かりやすい」と回答した上場会社（監査役等）の割合は61.9%（52名中84名）、協会関係学識者の割合は50.0%（2名中1名）であった。一方、「分かりやすい」と回答したレビュー対象監査事務所の割合は100.0%（57名中57名）であった。

Q2 「本解説集(Ⅱ部)」の記載のうち、特に、分かりやすいと思われた項目及び分かりにくいと思われた項目は何ですか。該当する項目を選択してください。(複数選択可) (共通質問項目)
 なお、協会関係学識者からは無回答のため、省略する。

()内の数値は回答率

※青色(赤色)の網掛けは、各対象者上位3位(2位)

選択肢	上場会社(監査役等)		レビュー対象監査事務所	
	分かりやすい	分かりにくい	分かりやすい	分かりにくい
I. 1. 品質管理の全般的体制	45 (88.2)	6 (11.8)	31 (96.9)	1 (3.1)
I. 2. 職業倫理及び独立性	35 (83.3)	7 (16.7)	33 (97.1)	1 (2.9)
I. 3. 契約の新規の締結及び更新	35 (81.4)	8 (18.6)	36 (97.3)	1 (2.7)
I. 4. 監査事務所間の引継	38 (86.4)	6 (13.6)	31 (96.9)	1 (3.1)
I. 5. 専門要員の採用、教育・訓練、評価及び選任	32 (84.2)	6 (15.8)	28 (96.6)	1 (3.4)
I. 6. 指示、監督、査閲及び審査	32 (84.2)	6 (15.8)	29 (96.7)	1 (3.3)
I. 7. 監査調書	40 (93.0)	3 (17.0)	35 (97.2)	1 (2.8)
I. 8. 品質管理のシステムの監視	39 (84.8)	7 (15.2)	30 (96.8)	1 (3.2)
I. 9. 情報セキュリティ	40 (85.1)	7 (14.9)	31 (96.9)	1 (3.1)
II. 1. 監査業務における品質管理	42 (84.0)	8 (16.0)	34 (97.1)	1 (2.9)
II. 2. 監査調書	38 (92.7)	3 (7.3)	34 (97.1)	1 (2.9)
II. 3. 監査の基本的な方針	40 (95.2)	2 (4.8)	26 (96.3)	1 (3.7)
II. 4. 財務諸表監査における不正	46 (90.2)	5 (9.8)	34 (97.1)	1 (2.9)
II. 5. 監査役等とのコミュニケーション	58 (96.7)	2 (3.3)	29 (96.7)	1 (3.3)
II. 6. 企業及び企業環境の理解を通じた重要な虚偽表示リスクの識別と評価	37 (78.7)	10 (21.3)	29 (96.7)	1 (3.3)
II. 7. 財務諸表監査における法令の検討	35 (89.7)	4 (10.3)	26 (96.3)	1 (3.7)
II. 8. 評価したリスクに対応する監査人の手続	34 (77.3)	10 (22.7)	34 (97.1)	1 (2.9)
II. 9. 業務を委託している企業の監査上の考慮事項	32 (86.5)	5 (13.5)	27 (96.4)	1 (3.6)
II. 10. 内部監査人の作業の利用	37 (88.1)	5 (11.9)	26 (96.3)	1 (3.7)

選択肢	上場会社(監査役等)		レビュー対象監査事務所	
	分かりやすい	分かりにくい	分かりやすい	分かりにくい
Ⅱ. 11. 監査証拠	37 (90.2)	4 (9.8)	34 (97.1)	1 (2.9)
Ⅱ. 12. 特定項目の監査証拠	31 (83.8)	6 (16.2)	27 (93.1)	2 (6.9)
Ⅱ. 13. 確認	32 (97.0)	1 (3.0)	28 (96.6)	1 (3.4)
Ⅱ. 14. 分析的実証手続	31 (75.6)	10 (24.4)	34 (97.1)	1 (2.9)
Ⅱ. 15. 監査サンプリング	39 (88.6)	5 (11.4)	32 (97.0)	1 (3.0)
Ⅱ. 16. 会計上の見積りの監査	41 (85.4)	7 (14.6)	42 (97.7)	1 (2.3)
Ⅱ. 17. 関連当事者	37 (84.1)	7 (15.9)	30 (96.8)	1 (3.2)
Ⅱ. 18. 後発事象	41 (91.1)	4 (8.9)	26 (96.3)	1 (3.7)
Ⅱ. 19. 継続企業	36 (87.8)	5 (12.2)	28 (96.6)	1 (3.4)
Ⅱ. 20. 経営者確認書	37 (92.5)	3 (7.5)	27 (96.4)	1 (3.6)
Ⅱ. 21. グループ監査	37 (82.2)	8 (17.8)	31 (96.9)	1 (3.1)
Ⅱ. 22. 財務諸表等の表示及び開示	36 (90.0)	4 (10.0)	26 (96.3)	1 (3.7)
Ⅱ. 23. 監査結果の取りまとめ	40 (93.0)	3 (7.0)	26 (96.3)	1 (3.7)
Ⅱ. 24. 監査報告書	45 (95.7)	2 (4.3)	27 (96.4)	1 (3.6)
Ⅱ. 25. 開示書類におけるその他の記載内容に関する監査人の責任	36 (92.3)	3 (7.7)	27 (96.4)	1 (3.6)
Ⅱ. 26. IT 監査	34 (75.6)	11 (24.4)	30 (96.8)	1 (3.2)
Ⅱ. 27. 内部統制監査	45 (88.2)	6 (11.8)	28 (96.6)	1 (3.4)
Ⅲ. 金融機関監査業務の品質管理	25 (65.8)	13 (34.2)	30 (96.8)	1 (3.2)
Ⅳ. IFRS 監査業務の品質管理	21 (58.3)	15 (41.7)	24 (92.3)	2 (7.7)
Ⅴ. 学校法人監査業務の品質管理	16 (47.1)	18 (52.9)	34 (94.4)	2 (5.6)
合計	1,432 (85.4%)	245 (14.6%)	1,174 (96.5%)	42 (3.5%)

回答者の属性にかかわらず、「Ⅱ. 3. 監査の基本的な方針」、「Ⅱ. 5. 監査役等とのコミュニケーション」、「Ⅱ. 13. 確認」及び「Ⅱ. 24. 監査報告書」は、「分かりやすい」と評価されている一方、上場会社（監査役等）からは、「Ⅳ. IFRS 監査業務の品質管理」及び「Ⅴ. 学校法人監査業務の品質管理」について半数近くが「分かりにくい」という評価が見受けられた。

【Q2】に対して寄せられた内容の改善等に関する主なコメントは、以下のとおりである（協会関係学識者からのコメントはなかった。）。

Q2に対して寄せられた主なコメント（上場会社（監査役等））
複数の事例が記載されており、要求事項や留意事項の記載は参考になります。
ページ数が多いため、時間を要しましたが、品質向上に向け個々の事例を活用して参りたいと思います。
興味のある項目について拝見しました。豊富な事例をコンパクトに整理いただき、理解が進んだように感じました。
全般的に参考になったが、特に「監査役等とのコミュニケーション」、「継続企業」、「IT監査」および「内部統制監査」が非常参考になった。
「はじめに」の会報等の一覧表が全体像を示し、分かりやすい。 全部事例が出ていて、分かりやすい。
各項目(要求事項・発見事項・留意事項)について、詳細な事例と解説の記載があり、非常に参考になった。
I部とは変わって、全般的に報告書のような文章だけとなっており、図解があればクライアント側にも留意事項やリスクマネジメントの視点が伝わりやすいのではないかと、分かりにくいとしました。（事例で、ほぼ報告書のそのまま掲載されているからと理解しています） 監査法人にも同様な提案をしてみたいと思い、そういう意味では大変参考になりました。

Q2に対して寄せられた主なコメント（レビュー対象監査事務所）
留意事項の次に、参考になる取組事例を教えてください。
全体的に非常にわかりやすいと思います。

■上場会社（監査役等）への質問項目

【Q3】 全体を通して、「本解説集(Ⅱ部)」は、**監査人とのコミュニケーションに当たり**、参考となりましたか。

■協会関係学識者への質問項目

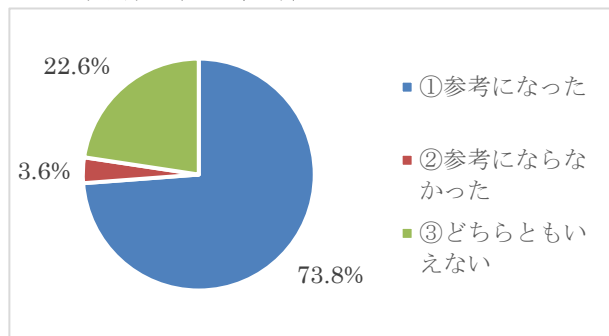
【Q3】 全体を通して、「本解説集(Ⅱ部)」は、**品質管理レビュー制度の理解に当たり**、参考となりましたか。

■監査事務所への質問項目

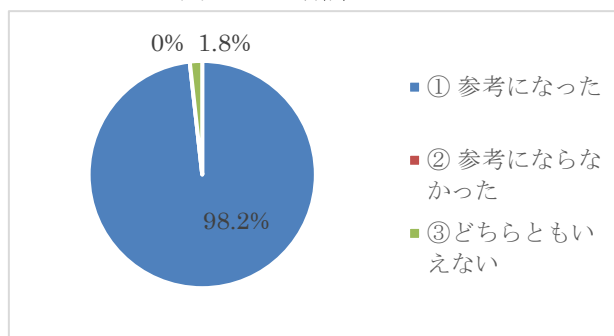
【Q3】 全体を通して、「本解説集(Ⅱ部)」は、**監査事務所の監査品質を向上するために**、参考となりましたか。

選択肢	上場会社 (監査役等)	レビュー対象 監査事務所	協会関係 学識者
①参考になった	62	56	1
②参考にならなかった	3	0	0
③どちらともいえない	19	1	1
合計	64	57	2

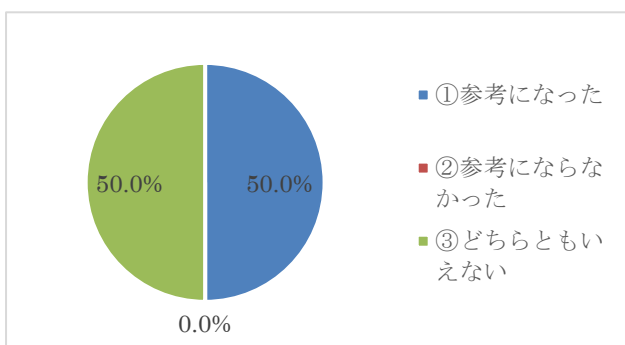
■ 上場会社（監査役等）



■ レビュー対象監査事務所



■ 協会関係学識者



監査人とのコミュニケーションに当たり、本解説集Ⅱ部が参考になると回答した上場会社（監査役等）の割合は、73.8%であった。

さらに、監査事務所の監査品質向上のため、本解説集Ⅱ部が参考になると回答したレビュー対象監査事務所の割合は、98.2%であった。

■上場会社（監査役等）のみ質問項目

Q4 監査人とのコミュニケーションに当たり、特に参考になった項目は何ですか。 該当する項目を選択してください。（複数選択可）

■協会関係学識者への質問項目

Q4 品質管理レビュー制度の理解に当たり、特に参考になった項目は何ですか。 該当する項目を選択してください。（複数選択可）なお、協会関係学識者からは無回答のため、省略する。

■レビュー対象監査事務所のみ質問項目

Q4 監査事務所の監査品質を向上するために、特に参考になった項目は何ですか。 該当する項目を選択してください。（複数選択可）

※黄色の網掛けは、各対象者上位3位

選択肢	上場会社 (監査役等)	レビュー対象 監査事務所
I. 1. 品質管理の全般的体制	28	23
I. 2. 職業倫理及び独立性	23	24
I. 3. 契約の新規の締結及び更新	21	25
I. 4. 監査事務所間の引継	15	17

選択肢	上場会社 (監査役等)	レビュー対象 監査事務所
I. 5. 専門要員の採用、教育・訓練、評価及び選任	22	24
I. 6. 指示、監督、査閲及び審査	19	22
I. 7. 監査調書	24	28
I. 8. 品質管理のシステムの監視	21	24
I. 9. 情報セキュリティ	23	28
II. 1. 監査業務における品質管理	29	24
II. 2. 監査調書	24	21
II. 3. 監査の基本的な方針	26	15
II. 4. 財務諸表監査における不正	33	29
II. 5. 監査役等とのコミュニケーション	50	20
II. 6. 企業及び企業環境の理解を通じた重要な虚偽表示リスクの識別と評価	31	26
II. 7. 財務諸表監査における法令の検討	12	16
II. 8. 評価したリスクに対応する監査人の手続	23	25
II. 9. 業務を委託している企業の監査上の考慮事項	17	22
II. 10. 内部監査人の作業の利用	20	16
II. 11. 監査証拠	22	26
II. 12. 特定項目の監査証拠	13	19
II. 13. 確認	17	16
II. 14. 分析的実証手続	22	26
II. 15. 監査サンプリング	24	25
II. 16. 会計上の見積りの監査	38	44
II. 17. 関連当事者	19	18
II. 18. 後発事象	29	15
II. 19. 継続企業	20	18
II. 20. 経営者確認書	29	16
II. 21. グループ監査	31	23
II. 22. 財務諸表等の表示及び開示	22	17

選択肢	上場会社 (監査役等)	レビュー対象 監査事務所
Ⅱ. 23. 監査結果の取りまとめ	26	17
Ⅱ. 24. 監査報告書	32	16
Ⅱ. 25. 開示書類におけるその他の記載内容に関する監査人の責任	27	16
Ⅱ. 26. IT 監査	24	23
Ⅱ. 27. 内部統制監査	35	16
Ⅲ. 金融機関監査業務の品質管理	12	20
Ⅳ. IFRS 監査業務の品質管理	10	12
Ⅴ. 学校法人監査業務の品質管理	7	20
合 計	920	832

上場会社（監査役等）は「Ⅱ. 5. 監査役等とのコミュニケーション」、「Ⅱ. 16. 会計上の見積りの監査」及び「Ⅱ. 27. 内部統制監査」を、会計監査人とのコミュニケーションに当たり参考になった項目として挙げている。また、レビュー対象監査事務所においても、「Ⅰ. 7. 監査調書」、「Ⅰ. 9. 情報セキュリティ」、「Ⅱ. 4. 財務諸表監査における不正」及び「Ⅱ. 16. 会計上の見積りの監査」を、監査事務所の監査品質向上のために、特に参考になった項目として挙げている。

なお、**Q4**に対して寄せられた主なコメントは、以下のとおりである（なお、協会関係学識者からのコメントはなかった。）。

Q4に対して寄せられた主なコメント（上場会社等（監査役等））
監査要求事項に対する留意点が詳しく掲載されており、参考になった。
財務諸表監査における不正、グループ監査について、連結財務諸表監査の不正を未然防止するため重要な項目であり、複数の事例に関する要求事項や留意事項の記載は参考になります。
品質管理レビュー事例解説集は、必要な時に検索・閲覧できるよう電子データとして公開していただけないでしょうか。
全般的に、監査役としても「発見事項」や「留意事項」は参考になり、記載内容に留意して監査役の活動にも活かしていきたいと思えます。

Q4に対して寄せられた主なコメント（レビュー対象監査事務所）
金融機関やIFRSなどの法人内の事案が少ないものについては、特に参考になります。
発見事項と同時に良い事例も示していただけると、より監査品質を向上させるための参考になると思えます。
当年度、初めて品質管理レビューを受ける当法人にとって、当法人の監査業務に関連するすべての項目の改善勧告事項が法人の監査品質の向上のために参考とすべき事項であると認識していますが、その中でも法人として特に留意して取り組んでいる項目を選択しました。
全体として参考になった。 表形式の記載となっているため、例えばこれを監査事務所内の定期的検証のチェックリストとして使用しても良いと考えている。

Q 5 「本解説集(Ⅱ部)」について、改善すべき点等、ご意見、ご要望があればご記載願います。(共通質問項目)

上場会社(監査役等)から18件、レビュー対象監査事務所から17件、協会関係学識者から1件の意見、要望があった。

寄せられた意見・要望は、2022年度「品質管理レビュー事例解説集」の作成の参考とする。

主な意見・要望は、以下のとおり。

Q 5 に対して寄せられた主なコメント(上場会社(監査役等))
希望者への冊子配布を検討いただけたらと思います。
各項目に記載されている内容は参考になりますが、全体のボリュームが膨大で通読することは困難でありました。類似案件への対応要領の辞書として活用させていただきます。
事例解説集Ⅱ部も、HPからではなく冊子で頂きたい。
とても分かりやすく、役に立ちます。毎年アップデートしていただけると助かります。
詳細に検討するには、具体例が多い方がよいのですが、特に重要な点、間違いやすい点と分けた方がよいのではないのでしょうか。
全てを読み込むのは相当な時間を要する。目次から興味のある項目について内容を確認する、参考書のような形で使用していきたい。
項目ごとに複数の事例が分かりやすく記載されています。項目・事例単位に明確に区分けされ、内容が具体的だったので分かり易かったです。
情報量が多くて読み切れませんでした。量が多いと感じる。
留意事項を辞書的に使える。

Q 5 に対して寄せられた主なコメント(レビュー対象監査事務所)
監査上の留意点を事務所内に周知する際に、指摘事項例として紹介するに当たり利用したが、数多くの事例が掲載されており、役に立った。
このように丁寧なまとめを作成するのは非常に大変とは思いますが、地方の法人の品質管理にとっても役立ちますので是非続けて頂きたいと願っています。
個人事務所にとっては多くの事例を情報提供いただくことが大変勉強になり有難いと感じます。
比較的詳細な内容が項目毎に整理されているので、事務所の品質管理施策を検討するうえで、類似状況の特定と改善に役立てやすいと思います。
紙版も作成頂けると有り難いです。
事例の一つ、一つを重く受け止め、監査品質向上のための検討資料としています。引き続き、より多くの事例を紹介していただけるようお願いいたします。
会員の監査実務に資することを目的として、監査実務における留意事項として品質管理レビュー事例解説集(Ⅱ部)を作成・公表していただきありがとうございます。大変参考になりました。 今後も継続して作成・公表していただくことをお願いいたします。
本年度からⅠ部とⅡ部が分けて発行されておりますが、Ⅱ部は監査実務担当者向けの留意事項データベース的な位置づけとして、より利用しやすくなったと思います。
弊法人での監査業務の羅針盤として、周知・活用させていただいております。中でも、事例解説集(Ⅱ部)は表形式となっており、監査業務での具体的な留意点が大変わかりやすく、構成

Q 5 に対して寄せられた主なコメント（レビュー対象監査事務所）
員に対して監査手続を示すうえでも大変参考になります。大変すばらしい取り組みに感謝申し上げます。
このⅡ部の記述を法人内部のチェックリストとして加工したいので、ワード又はエクセルで、データを頂けたら非常に便利だと思います。
CPA AOB 事例集のように、事例が生じた事務所の大手・準大手・中小の区分があれば、より参考になると思いました。
表の途中で改ページされるが多いため、読みづらいです。
項目、要求事項、発見事項、留意事項と表形式で記載されており、理解しやすかった。 他方、発見事項の中に、事例が組み込まれているため、もう少し、事例を具体的に記載して頂けると、より深く理解できるように思います。
Q 5 に対して寄せられた主なコメント（協会関係学識者）
情報量があまりにも過大になると、読み手の解析度が低下し、肝心の部分についても理解度が低下することは否めません。補足説明を削除するか、別途、記載したほうがメッセージが的確に伝達できると思料します。

以 上